

スポーツ  
推進委員

# とうはくぐん

平成29年 1月 第31号



## 地域に健康の種をまこう



年もどうぞよろしく願います。

これからの地域のスポーツ振興の為にともに頑張りましょう。今年もどうぞよろしく願います。

さて、団塊の世代が七十五歳を超える二〇二五年あたりからより一層社会の高齢化が進んでいく中で、いわゆる健康寿命をいかに延ばすかが、今後の大きな課題の一つであると思います。その為に我々はスポーツ推進委員としての専門的な知識や技能を向上したりいろんな情報を習得して今後の活動に役立てていかなければならないと思っております。

平成二十八年度のそれぞれの研究大会で受賞された方を紹介します。全国スポーツ推進委員研究協議会（福井大会）で文部科学大臣表彰に永野忠行さん（湯梨浜町）、全国功労者表彰に山下勇さん（三朝町）、全国三十年勤続感謝状に永野忠行さん（湯梨浜町）、杉川武士さん（北栄町）、米田愛子さん（三朝町）、全国賛助会員感謝状に林原英機さん（琴浦町）、優良団体表彰に湯梨浜町スポーツ推進委員連絡協議会が、鳥取県功労者表彰は表輝明さん（琴浦町）、前畑裕志（琴浦町）、以上の方が受賞されました。今後益々ご活躍されることを期待しています。

それから、昨年十月二十一日（金）鳥取県中部地震によって被害に遭われた方に置かれましては心よりお見舞い申し上げます。また、その二週間後に行われた鳥取県スポーツ推進委員研究大会には、東伯郡の皆さんと倉吉市の皆さんには大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

平素より各町のスポーツ推進委員の活動はもとより、東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会の運営に御協力いただき誠にありがとうございます。これも皆さまのご家族の方の我々の活動に対してご理解と御協力があったからこそだと思います。どうぞご家族の方にもよろしくお伝えください。



会長 あいさつ

東伯郡  
スポーツ推進委員連絡協議会  
会長 吉田 好人

# 受賞おめでとうございます

## 文部科学大臣表彰・三十年勤続感謝状

湯梨浜町 永野 忠行



第五十七回 全国スポーツ推進委員研究協議会にて文部科学大臣表彰、三十年勤続感謝状をいただきありがとうございます。  
昭和六十二年、旧羽合町より体育指導員として任命していただいて以来、今日まで東伯郡内の推進委員の皆さまの支えがあつて受賞させて頂いたものと、感謝いたしております。この気持ちを忘れることなく、今後も精進し頑張っていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。

## 全国功労者表彰

昭和六十二年、旧羽合町より体育指導員として任命していただいて以来、今日まで東伯郡内の推進委員の皆さまの支えがあつて受賞させて頂いたものと、感謝いたしております。この気持ちを忘れることなく、今後も精進し頑張っていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。



今年度スポーツ推進委員全国功労者表彰をいただきました。

ひとえに東伯郡スポーツ推進委員のいい雰囲気の中で活動させていただいたおかげだと思います。  
全国スポーツ推進委員研究集会に参加するたびに己の力不足を痛切に感じます。

三朝町 山下 勇

ただ、これから先、障がい者スポーツの分野など活動の場が広がっていくとが必要で、活動の場を拓げる為に必要な資格の取得や研修を受けることは、限られた時間の中で、難しいことが山積みで大変なことです。少しでも工夫をして力をつけていきたいと思ひます。

残された時間は多くありませんが老骨に鞭打って頑張っていきたいと思ひます。ありがとうございました。

## 全国三十年勤続感謝状

三朝町 米田 愛子



この度、第五十七回全国スポーツ推進委員研究協議会福井大会において、三十年勤続の感謝状をいただきました。熱しやすく冷めやすい性格の私が、三十年間もスポーツ推進委員を続けてこられたのは、仲間の支えがあったからこそと心から感謝いたします。

## 全国三十年勤続感謝状

北栄町 杉川 武士

あれから三十年、昭和六十二年に委員となり、その翌年から町のすいか・ながいも健康マラソン大会、由良川イカダレースが始まり、企画・運営に携わり、若僧でしたが大変楽し

く、勉強にもなり、刺激を受けました。受賞にあたり、本来ですと、初心に帰り、今後ともよろしくお願ひしますが普通ですが、農業環境、家庭の事情により、残念ですが退任することとします。  
今後とも、感謝の気持ちと、地域貢献する心を忘れずに行動して行きたいと思ひます。ありがとうございました。

のすいか・ながいも健康マラソン大会、由良川イカダレースが始まり、企画・運営に携わり、若僧でしたが大変楽し

## 全国賛助会員感謝状

琴浦町 林 原 英 機



## 全国優良団体表彰

### 湯梨浜町スポーツ推進委員連絡協議会

この度、湯梨浜町スポーツ推進委員連絡協議会が優良団体表彰を受賞させて頂き、誠にありがとうございます。他町のスポーツ推進委員の方も取り組まれていることと思いますが、湯梨浜町では、一般の方を対象に軽スポーツ教室として「バウンスポール」を中心に毎月一回開催しております。参加者の意向も聞きながら「ドッチビー」になる月もあります。慣れてくればディスクが二枚になり、更に本気になります。又、偶数月には「スポーツ推進委員と歩こう会」と称し、町内の色々な地区を七キロウォーキング、ノルディックウォークを併用し実施しております。しかし一般

参加者が固定されつつあるという課題もあります。

表彰受賞に恥じないよう、協議会定例会において、意見を出し合い、知恵を出し合い子供からお年寄りの方まで参加して取り組めるよう一層努力して参ります。

(寄稿 蔵本健二)



## 鳥取県功労者表彰

琴浦町 表 輝 明



この度は、鳥取県功労者表彰を頂きありがとうございます。推進委員となり、早いもので十年が経過しました。多くの先輩委員の方々のおかげで活動を続けてこられたことに本当に感謝しております。まだまだ出席率は伸び悩んでいますが、今後も推進委員の一員として、出来る範囲で頑張っ

ていこうと思います。

近年、ウォーキングやニュースポーツ等、運動する機会も少しずつではありますが増えてきていると感じています。これからは若者から高齢者の方々に楽しんでいただける生涯スポーツを地域の皆さんに知っていただき、お互い健康寿命を伸ばせるよう楽しく活動していきたいと思っていますので今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 鳥取県功労者表彰

琴浦町 前 畑 裕 志



このたびは、鳥取県功労者表彰をいただきありがとうございます。

このたびは、鳥取県功労者表彰をいただきありがとうございます。十年前と比べて確実に体力は衰えています。その分気力でカバーしていきますので今後とも皆様のご指導をよろしく願います。

仕事や子育てなどでスポ推の活動になかなか参加できていませんでしたが、自分のできる範囲で今後も地域振興に寄与していきたいです。

# 東伯郡・倉吉市スポーツ推進委員実技研修会



## 今年は屋内ペタンク （車イスで競技体験も）

東伯郡・倉吉市スポーツ推進委員合同実技研修会を七月二十四日に三朝町で開催しました。

この研修会は、東伯郡と倉吉市のスポーツ推進委員が一堂に会し、研修を通してスポーツ推進委員としての資質向上や互いの親睦や交流を深めることを目的として開催されています。

今年では三朝町が運営を担当し、屋内ペタンクを実施しました。例年はニュースポーツの体験を実施することが多いですが、今年

はなじみのある屋内ペタンクを実施し、代わりに障がい者スポーツへの理解を深めるきっかけづくりとして数名の委員に車椅子に乗って競技してもらい、車椅子でスポーツを行うことの体験やその介助について研修を行いました。

競技の開始前には社会福祉協議会に勤務する委員から車椅子の使い方や介助の際の注意点などについてレクチャーを受けました。

競技は、各市町混合の六人一チーム、一試合十分の特別ルールで実施し八チームによるトーナメ

ント形式で競い合いました。

参加した委員は競技を楽しみながら交流を深め、また普段扱っていない車椅子の使用法について、乗ってみたり動かしてみたりしながら、関心をもって取り組んでいました。

倉吉市と東伯郡が合同でこの研修会を実施するようになって今年度で五年となり、ちょうど各市町を一回りすることとなりました。来年度は二周目として新たなスタートです。

この研修会を通じて中部地区スポーツ推進委員の絆が益々深まりより一層盛り上がっていくことを願っています。





# ニューフェイス



三朝町教育委員会  
社会教育課

福松 勇 希

今年度から三朝町のスポーツ推進委員会の事務局を担当させていただきます。ありがとうございます。

分からないことも多い中でしたが、委員の皆さんには大変よくしていただき楽しく関わらせていただいております。

事務局としてスポーツ推進委員の様々な活動を一緒にやらせていただきましたが、私自身、体を動かしたり、スポーツに関する知識を学んだりすることが好きでとてもいい経験になっています。

本町は郡で一番人口が少なく委員の数も最少ですが、小さなことからコツコツと積み重ね、スポーツの魅力をより多くの方に発信し、スポーツに親しんでいただけるよう頑張っていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いします。



## 湯梨浜町の取り組み

湯梨浜町スポーツ推進委員長 長 昌彦

湯梨浜町スポ推では主催事業として、軽スポーツ教室を毎月一回平日夜に開き、その中でバウンスボールをはじめ、ドッチビー、スポンジテニスなどを行い、老若男女問わず民にスポーツに親しんでもらおうと奮闘中です。

これに伴い、軽スポーツの知名度を上げようと、バウンスボールの町民大会を年一回開催しております。バウンスボールの知名度は高くありませんが、湯梨浜町スポ推ではこれをメインに推していき、町内に周知・普及を目指してこれからも宣伝に努めます。

また「スポーツ推進委員と歩こう会」と称して隔月一回、町内のあらゆる場所でウォーキングイベントを行っています。コースは毎回羽合、東郷、泊の各地域から一つ決めていき、例えば夏場は滝めぐりコースにして、途中でかき氷をふるまったり、冬場は足湯めぐりコースにしてゴール

後に温泉卵を皆で食べたりにして、乱立する他のウォーキングイベントと差別化を図って、できるだけ多くの町民に来てもらえるような工夫をしております。

先ほどのバウンスボールの件でも述べたと同様に、いずれの主催事業も町内での知名度はまだまだです。できれば、五年、十年とこれらの事業を継続して根付かせ、町民にとって必要不可欠なものになるようにこれから頑張ります。



軽スポーツ教室・バウンスボール ウォーキング 今滝にて

## 今年度の三朝町スポーツ推進委員の活動

三朝町スポーツ推進委員 森下 剛

現在九名の三朝町スポーツ推進委員会の今年度の主な活動は、月一回の定例会、月二回の骨盤調整ヨガ、三カ月毎の介護施設での体力測定、年一回のスポ少結団式でのレク、町スポレク祭、駅伝競走大会等各種スポーツイベントの運営補助、及び各種研究・研修会への参加、といったところでしょうか。地域や小学校親子会からの依頼も少々。

地道な活動を継続する中で今年度、全国スポ推において二名の先輩委員が表彰されたことは、大きな喜びでした。JK風に言うと「アモーレが二人も表彰なんてマジ、ゲロうれしみ、はげろ、マジよきよき」です。

福井のおいしい地酒を味わえたのもお二人のおかげです。今後とも我々後輩委員の目標として委員会を引っ張っていただきたいと思っています。



スポ少レクリエーション



ノルディック指導

今後の活動として『生涯スポーツ』の普及・振興を軸として、健康・体力の維持増進を図る上で自分達に何が出来てくるかを常に考えながら、多様なニーズを捉え、それに応えるために我々個々の能力を向上させていくことが大事ではないかと考えています。

事業によっては他の団体組織等と重なる部分がありますが、連携・協力し、関係する人、みんなが楽しみながら効果を得られる、そんな活動を継続していきたいと思っています。

## 「お・も・て・な・し Part 2」

### 琴浦町スポーツ推進委員 山本 真弓

琴浦町スポーツ推進委員は、現在女性十二名・男性十五名の二十七名で賑やかに活動しています。努力目標は昨年度の「おもてなし」から一歩前進して「おもてなしPart 2」とし「お」は大きな声で、「も」は盛り上げて、「て」は手をつないで、「な」は仲間を作り、「し」は幸せにしようです。このキャッチフレーズに、昨年度までの①町民体力づくり教室（九月～十月までの計五回）、②町民体力づくりウォーキング（十一月三日）、③町民体力づくりスポーツレク祭（二月）の三本柱に加え、新たに「月に一度のナイトスポーツデー（六月～十一月）」を定例会の前に行い、ソフトバレーボールとバドミントンに取り組みました。

その他の活動として、町行事及び体育協会等の事業支援（元旦マラソン&ウォーキング大会、各種駅伝、ペタンク大会、白鳳祭



「体力づくり教室」でソフトバレー



「在住外国人スポーツ交流会」でドッチビーの指導

等）また運動会やスポーツ指導等の地区公民館事業への協力、部落や小学校親子活動でのレクリエーションやニュースポーツの指導等を行っています。その他救命講習会、講師を招いての新体力テスト実施研修、郡体への協力、全国・中国・県それぞれの研修会への参加に加え、月に一度の定例会等、沢山の行事を皆で話し合いながら無理のないように協力してきました。私たち推進委員の日々の小さな活動で、琴浦町の皆さんが健康で明るい毎日が送れるよう、笑顔で取り組んでいきます。

## 北栄町スポーツ推進委員の活動

### 北栄町スポーツ推進委員協議会

北栄町スポーツ推進委員は、現在二十五名（男性十三名、女性十二名）で活動しています。

今年度も、すいか・ながいも健康マラソン大会や町民運動会などの町のいろいろな事業運営に積極的に協力しました。

また、自主事業である「訪問型

ニュースポーツ体験事業」も継続して実施しています。この事業も、町民のみならず浸透してきて、こども会や小学校親子会、町内事業所や老人クラブなどの様々な年代の方からご利用いただいています。ニュースポーツのメニューも、研究大会などで学んだものを取り入れています。今年度は、中国研修会で学んだ「ラダーゲッター」を指導できるように、まずはスポーツ推進委員同士で研修を行いました。この事業をと



自治会でのニュースポーツ指導

して、ニュースポーツの普及と利用される町民のみならず運動習慣のきっかけとなれば良いなと願いながら指導を行っています。北栄町がもっとも元気なまちとなるよう、関係機関と連携を図りながら今後も活動していきたいと思っています。

# 今年を振り返って



鳥取県地域振興部スポーツ課

スポーツ振興担当 主事 居川 凌

日頃からスポーツ推進委員の皆様には本県のスポーツ振興に御尽力いただき、感謝申し上げます。

この度、鳥取県中部地震で被害を受けました皆さまには心より御見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を御祈り申し上げます。

今年、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、本県から女子アーチェリー日本代表の川中香緒里選手やパラリンピック陸上競技日本代表の野田昭和選手らが出場し、県民みんなで応援しました。

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック、二〇二二年関西ワールドマスターズゲームズに向け、全国的に人々のスポーツに対する関心が日増しに高まっているところです。

本県では四月三十日、五月一日の両日、鳥取市で日本パラ陸上競技選手権大会を開催しました。県内外から多くの来場者を迎えて世界記録が樹立する瞬間を見ることができました。特別支援学校や県内小学校および陸上クラブによる四〇〇メートルリレーを併せて開催するなど、大会自体熱気も相ま

つて、選手や来場者の記憶に残る大会となり、障がい者スポーツを多く知っていただく良い機会となりました。

私自身もスポーツ振興に携わり、早くも三年を迎えようとしております。スポーツ推進委員の県・中国・全国大会や研修会を通して、多くのことを勉強させていただきました。スポーツの普及・振興のため、スポーツ推進委員が担う役割の重要性を実感し、本県としても皆さまと一体となってスポーツ分野の活動に取り組んで参りたいと思います。

また、今年度の鳥取県スポーツ推進委員研究大会では、皆さまに準備から大会運営まで御協力いただき、大成功のもと大会を終えることができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

来年度の鳥取県スポーツ推進委員研究大会は、境港市開催で準備を進めております。皆さまの参加を心よりお待ちしております。終わりに、皆さまのますますの御活躍と御発展を祈念し、御挨拶いたします。

# 「三つの間」の確保



中部教育局指導主事 西村 信彦

「空間」「時間」「仲間」

鳥取県教育委員会は子どもの体力低下の要因の一つとして、この「三つの間」の減少を指摘しています。このことは、成人にもあてはまるのではないのでしょうか。

私事になりますが、今秋に中部で開催された日本で初めての世界大会であるワールドトレイルズカンファレンス(WTCL)に同僚や妻と参加しました。私にとって、初めてのウォーキング体験で、久しぶりに全身運動を行い、心地よい汗をかくことができました。また、東郷湖周辺の街並みや湖畔の景色、地元の方の温かいおもてなしに癒やされ、ウォーキングの醍醐味を味わうことができました。

そもそも、このWTCLに参加したのは世界大会に参加するチャンスがあったことと一緒に歩く仲間と時間

の都合がついたことに他なりません。つまり、「空間」「時間」「仲間」の「三つの間」があったからこそ気持ちのよい汗をかくことができたといえます。

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を四年後に控え、重要な政策目標でもある子どもの体力向上、成人のスポーツ実施率の向上について、今後ますます社会からの関心が集まると考えます。

スポーツ推進委員さんや社会体育関係者の皆様におかれましては、「三つの間」を積極的に提供していただき、地域の方のライフステージに応じたスポーツ活動の推進にお力添えをくださるようよろしくお願い申し上げます。